

泌尿器科

診療科概要

西湘地区で泌尿器科が3名常勤は当院のみである。約30万人の診療人口で、泌尿器疾患全般を診療している。外来は1日平均50~60名、入院は20名前後。年間の手術件数は約200件、悪性腫瘍手術が半数以上占める。ESWLは年間新患約100名で約200件施行している。住民基本健診にPSAが組み込まれ前立腺生検は年間140人前後施行。前立腺癌症例（年間50名前後）が増加している。尿路性器悪性腫瘍、腹腔鏡手術（横浜市大より応援で）に注力している。

目標と理念

泌尿器科専門医取得のための4年間うち2年間に取得すべき知識と技術、医師として必要な態度を習得することを目標とする。泌尿器科医療の基礎を学ぶとともに、病院において他科や中央診療部門、さらに他職種との協力体制を会得し、医師としての基本を身につけることにある。

到達目標（1年次、2年次）

1年次：指導医指導のもとで以下を研修する。

外来：尿路検査、超音波検査、内視鏡検査、などを行える。検査結果を理解し、患者さんに十分な説明ができる。

病棟：カンファランス等で症例の提示が行える。基本的手術において術前、術後管理が行える。簡単な手術は術者として、難易度の高い手術は第一助手として参加する。前立腺針生検、ESWLに習熟。

臨床研究：学会、研究会に積極的に参加し、症例報告を行う（論文発表可能）

2年次：基本的には1年目と同様であるが、より自立した診療を行う。

外来：週半日の外来診療を可能であれば独立して担当する。治療、手術の適応を自立して判断できるようになる。

病棟：内視鏡手術（経尿道的膀胱腫瘍生検術、膀胱結石碎石術、経皮的膀胱瘻造設および経皮的腎瘻造設）ができるようになる。

臨床研究：1年次と同様。

2年次終了後：希望により横浜市大泌尿器科教室への入局は可能。